



鳥取大好き！プロジェクト ふるさとキャリア教育だより

No. 1

鳥取県教育委員会

鳥取県では、子どもたちが自立し、自分らしい生き方を実現するとともに、将来にわたりふるさと鳥取県に誇りと愛着を持ち、郷土を支える人材の育成を行うことを鳥取県教育振興基本計画に掲げ、市町村とも連携しながら、児童生徒の発達段階に応じたふるさとキャリア教育を充実することとしています。

そこで、鳥取県東・中・西部地区に、ふるさとキャリア教育を推進するモデル地区を指定して、令和2年度から「ふるさとキャリア教育」モデル事業（キャリア・パスポート活用）を実施しています。

◆モデル地区

東部	八頭地区	郡家東小、郡家西小、船岡小、八東小、八頭中、八頭高
中部	北栄地区	大栄小、北条小、大栄中、北条中、鳥取中央育英高
西部	日野地区	日野小、黒坂小、日野中、日野高



今回は、八頭地区をご紹介します。

八頭地区の取組

指定地区における小中高等学校の実態の共有

- ・ふるさとキャリア教育担当者が各校の取組やその成果と課題を共有（年3回の連絡協議会を実施）
- ・アンケート（年2回実施）を基に小中高の児童生徒の実態を把握、分析・評価し、よさや課題を共通認識
- ・小中高12年間の流れがわかるキャリア・パスポートの構成表を作成 ※別添参照
- ・各学校でキャリア・パスポートを計画的に作成し、ふるさとキャリア教育の取組を年間を通して推進する教員の意識が向上

【八頭地区の児童生徒及び教員の姿】



児童生徒

ふるさと（八頭町・鳥取県）が好きと回答した児童生徒の割合

94.4% (6月) 96.7% (2月)

地域の良さや、それに関わる人の思いや生き方を知っている児童生徒の割合

77.8% (6月) 81.8% (2月)



教員

ふるさと鳥取県（八頭町）に誇りと愛着を持ち、郷土を支える人材を育成した教員の割合

33.3% (6月) 56.0% (2月)

児童生徒に対して、地域や社会をよくするために何をすべきかを考えさせるような指導を行った教員の割合

32.3% (6月) 45.0% (2月)

ふるさとが好きな児童生徒の割合は6月でも高いですが、さらに伸びていますね。

令和3年度の取組の方向性

教員の意識が高まり、ふるさとキャリア教育の充実が図られたことが伺えます。

○引き継いだキャリア・パスポートの活用

- ・小中連携や中高連携を意識して、各学校種でキャリア・パスポートをどう生かすのか校内で共有する

○縦と横のつながりの整理

- ・小学校4校の特色を生かしつつ、小学校段階における町内での共通した取組を確認する
- ・児童生徒の発達段階に応じた学習となるよう、年間指導計画やキャリア・パスポートの構成を見直す

○地域に関わる学習をととして、地域に愛着を持ち、地域の課題解決のために考え、行動する学習を推進

- ・地域と関わる学習をととして、地域（ふるさと）のために自分にできることを考えさせたり、課題解決のために行動させたりする



小中高等学校での取組内容を共有したことにより、取組の重なりや系統性に課題があることに気づかれました。中学校では、小学校の年間指導計画を確認され、総合的な学習の時間の見直しについて検討を始められました。小学校でも、中学校で育成を目指す資質・能力を意識し、改めて自校の内容を振り返る動きも出ています。また、小小連携の大切さにも気づかれ、4小学校で共通して実践することについても検討を始められます。

